

幸消防団だより

第72号
令和7年6月発行
川崎市幸消防団
団長 蒲田 賢
広報委員会編集

操法大会にあたって

幸消防団 団長 蒲田 賢



このたび、幸消防団の団長を拝命いたしました、蒲田でございます。歴史ある幸消防団の団長という重責を仰せつかり、身の引き締まる思いでございます。今後も地域の皆様の信頼に応じられるよう努めてまいりますのでご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、第51回幸消防団ポンプ操法大会を挙行するにあたり、ご来賓の皆様をはじめ、地域の皆様、消防関係団体の皆様など、多数の方々のご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

本大会は、消防団員が火災防ぎょ活動をするにあたり、規律ある行動、的確な命令・伝達、正確な小型ポンプ操作技術及び火点への確実な放水を行い、災害現場における対応能力の向上、さらに、士気の高揚を図ることを目的としております。

選手の皆様には、日ごろの訓練成果を遺憾なく発揮し、ご臨席の皆様方に、安全、確実、迅速な操法を披露していただきたいと思っております。

結びになりますが、選手及び団員、そして、本日、ご臨席いただきました皆様方のご健勝とご多幸をご祈念いたしまして、訓示いたします。

操法大会を終えて

幸消防署 署長 永岡 敦司



第51回幸消防団ポンプ操法大会が、このように盛大に挙行されましたことを、心からお祝い申し上げます。

優勝を収められました、第2分団の選手の皆様におかれましては、本当におめでとうございます。また、敢闘賞となった、各分団の皆様には、本日の悔しさをバネにして、次回、優勝を目指して頑張ってくださいと思います。本日、ご披露いただきました、ポンプ操法により、幸消防団の高い技術と団結力、そして、熱意を目の当たりにし、地域の方々も、心強く、また、頼もしく感じているものと存じます。

団員の皆様は、大会を通じて得た技術を今後の災害活動で活かしていただき、区民の安心・安全のためご尽力を賜りますようお願いいたします。

終わりに、この操法大会の運営に御支援、御協力を賜りました関係団体の皆様方、また、早朝から御臨席をいただきました、御来賓の皆様方には心からお礼申し上げますとともに、幸消防団の益々の御発展と、御参会の皆様方の御健勝とご多幸を心より祈念いたしまして、講評いたします。

受章おめでとうございます

【消防庁長官表彰】

令和7年3月7日付

●永年勤続功労章

本 団 消防部長 西田 治

【神奈川県消防協会会長表彰】

令和7年3月27日付

●功績章

第2分団 分団長 坂井 幸一

●勤続章（20年）

第2分団 副分団長 沼澤 貴能

第3分団 部長 遠山 直樹

第4分団 班長 小岩 三智彦

退団された方々

○令和7年2月28日付

元第1分団 団員 佐藤 安弘様

元第4分団 団員 小倉 英光様

○令和7年3月31日付

元本団 団長 高橋 克明様

元第1分団 団員 太田 篤志様

元第2分団 団員 相澤 結貴様

元第3分団 団員 小口 紀歩様

元第3分団 団員 上野 泰弘様

元第3分団 団員 小松 終仁様

○令和7年4月30日付

元第2分団 団員 高橋 桃様

永い間
お疲れさ
までした



幸消防団幹部

令和7年4月1日付

本 団 団 長 蒲田 賢

副 団 長 中村 泰司

庶務部長 細谷 三康

警護部長 村石 勉

消防部長 西田 治

広報部長 吉岡 雅之

第1分団 分 団 長 生方 清

第2分団 分 団 長 坂井 幸一

第3分団 分 団 長 成川 秀幸

第4分団 分 団 長 岩瀬 宏

幸消防署へ着任した職員

令和7年4月1日付

予 防 課 課 長 基 裕樹

予防係長 清水 慶太

危険物・査察係長 大高 宏仁

警防統括担当課長 森田 智和

警防第1課 課 長 今村 亨

調査係長 川邊 昇一

南河原出張所長 長澤 克典

加瀬出張所長 尾崎 義徳

警防第2課 課 長 鈴木 繁雪

担当係長 宮崎 直人

平間出張所長 三浦 光司

消防団員募集



入団申請はこちら

幸消防団では新規団員を募集しています。

- 資格 幸区内在住、在勤の満18歳以上の健康な人
- ・特別職の公務員として活動中の負傷などは公務災害として補償されます。
 - ・班長以上の階級に3年以上在職した団員は防火管理者の資格を得ることができます。

問合せ先 幸消防署予防課消防団・防災支援係
TEL：044-511-0119 FAX：044-544-0119

編集後記

幸消防団だより72号をお届けします。
発行に当たり、関係各位の御寄稿に深く感謝致します。

発行責任者 蒲田 賢

編 集 幸消防団広報委員会

広報部長 吉岡 雅之

第1分団 木村 雅子 菅 徹之

第2分団 鈴木 盛樹 中間 邦之

第3分団 遠藤 多恵子 三原 幸子

第4分団 菅原 文夫 青木 真弓



幸消防団
INSTAGRAM

第51回 幸消防団ポンプ操法大会

令和7年5月11日(日) 川崎市地方卸売市場南部市場において開催しました

大会結果

優勝 第2分団 敢闘賞 第3分団・第4分団・第1分団
個人賞 指揮者 沼田 拓海(第3分団) 1番員 池永 匠真(第2分団)
2番員 嶋 凌汰(第2分団) 3番員 堀本 海吏(第2分団)



個人賞を受賞した団員のコメント

指揮者 沼田 拓海(第3分団)

第3分団の先輩方や仲間をはじめ、全ての関係者の皆様のおかげで安心して競技に臨むことができました。心より感謝申し上げます。消防団のパフレット表紙に写真を掲載頂いた身として、恥じぬよう真剣に練習に取り組んだ成果を出せたのではないかと、ほっとしております。今後も生まれ育った幸区のために出来る限りのことを続けてまいります。温かく見守っていただければ幸いです。ありがとうございました。



1番員 池永 匠真(第2分団)

今回の操法大会では1番員をやらせてもらいました。どの分団も練習を重ねてきた中で個人賞を貰えたことは、第2分団の指導者を始めたくさんの方々の協力があった取れた結果です。また同時に今年も優勝できたことはチーム第2分団として団結できた結果だと思います。まだまだ改善すべき部分も多々あるので将来立派な消防官になれるように第2分団の方々からこれからも指導して頂き頑張っていきたいです。



2番員 嶋 凌汰(第2分団)

今回初めて選手として操法大会に参加し迷惑をかけないように練習量だけは負けない気持ちで取り組んできました。分団の皆さんには雨の日を含め、多くのご指導ご支援いただき、大変感謝しています。結果、優勝と個人賞をいただくことができ、一緒に喜んでもらい、とてもうれしく思います。しっかり、今後の消防団活動に活かしていきたいと思っています。ありがとうございました。



3番員 堀本 海吏(第2分団)

優勝、さらに個人賞という大変光栄な賞をいただくことができました。ここまで来られたのは、共に汗を流し、訓練に励んできた仲間、そして何よりも温かくご指導くださった指導者の皆様のおかげです。日々の積み重ねが結果となって表れたことに、喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。今回の経験を通して得た技術や精神力を今後の活動に活かし、地域のために一層精進してまいります。



自称・夢見ヶ崎公園専属アイドル GABU (機能別団員)

GABUさんのオリジナルソングで会場を盛り上げてくれました。



カラーガード隊「レッドウィングス」

カラーガード隊の華やかなで息の合った演技は、見る人の心を惹きつけていました。



祝 第2分団 優勝



第2分団 指揮者 内山 正樹

今回の大会は、自分自身初めて指揮者として出ることになって、右も左も分からない状態での参加となりましたが第2分団で先輩の指導者に導かれ、何とか指揮者としての役割を果たせました。

それぞれの選手の努力が素晴らしく、他の選手のおかげで優勝チームの指揮者となるのが出来ました。

今回の優勝は、まさにチーム一丸となって得たものと思います。今回の訓練を糧に来年の操法や日頃の活動をより良いものにしていきたいと思っています。

